



生和糖 業 壴 工 発行者·業務部原料係 山 浩 守 編集担当者:業務部原料係 浦 功

6666666666 1月・2月の主な行事予定 1~4日:元旦・年始休

5日:工場年始会・仕事始め

7日:搬入·圧搾開始

2月初旬:洗缶予定 3月中旬:洗缶予定



トンのさとうきびを滞りなく処理する事ができました。

どうぞ、本年も宜しくお願い致します。

皆様方には年明けも早々に農作業にご精励の事と存じますが、 お身体をご自愛されて、製糖終了まで宜しくお願い申し上げます。 51周年という新たな節目の『さとうきび通信』発行となります。

新年、明けましておめでとうございます。 第51期の操業も12月16日に始まり、年末27日までに8,797

▶第51期・製糖開始出発式 H21.12.16AM8:30~

21/22年期搬入量(累計)

9,672,788kg

《新年のご挨拶》

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には健やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。 今期のさとうきび生産見込みは、下記の通り昨年比10%程減産となっています。 12月の製糖時の糖度も前年比1度弱低くなっており、今後の回復に期待する ところです。昨年11月末に本島に来て1ヵ月が過ぎました。 大きな期待と一抹の不安を抱いての来島でしたが、今日では不安は一つのみ。 島の人同士での話の内容が解らないこと。期待は予想以上で、特に今まで住ん でいた処よりも地域・社会の規律が保たれ人の絆が強いことを感じています。

この1ヵ月で嬉しかったことを二つ。通勤時にすれ違った高校生が 見知らぬ私に「お早うございます」と大きな声で挨拶してくれたこと。 それから小学校1~2年生位の子供が横断歩道で車を止めてあげた時、 渡り終わった後に振り返って、車内の私にお礼のお辞儀をしてくれた

H22.1.11現在

20/21

14.44%

買入糖度(累計)

21/22

13.67%

16.38%

12.09%

進捗率

(80,000t)

本当に久し振りにすがすがしい気分を味わせてもらいました。

生和糖業株式会社

常務取締役 田中 康之

会社搬入量 13,110,985kg



١,	\ TF	友 但			1次1世			一番 他			竹木 山					
	型	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量
:	月日	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t
,	H20年度実績	44,983	8,993	40,453	9,263	8,144	7,544	10,271	6,521	6,698	55,163	6,716	37,047	119,680	7,666	91,742
	H21/6/1調査	42,364	8,273	35,046	9,775	6,826	6,673	11,221	5,584	6,266	56,702	5,530	31,356	120,062	6,608	79,341
	H21年農家予約	39,369	8.446	33,253	12,454	7.557	9,412	12,336	5.769	7,117	61,371	5.857	35,944	125,530	6.829	85,726
1	H21/11/1調査	36,061	8.415	30,347	12,812	7.369	9,441	12,965	5.006	6,490	64,788	5.225	33,852	126,626	6.328	80,130

きびの増収のために最低限行うこと★★★★



○雑草・病害虫対策も効果的に行いましょう。

■さとうきびで登録がとれている農薬

※食の安全のため、農薬の適期使用 (回数)・減農薬に心掛けましょう。

薬剤名	使 用 方 法
カーメックスD	土壌処理・茎葉処理(2回)収穫90日前まで
センコル水和剤	土壌処理及び茎葉処理で1回収穫45日前まで
アージラン液剤	茎葉処理(2回以内)
シャドー水和剤	茎葉処理(2回以内)収穫90日前まで
2,4-Dアミン塩	茎葉処理(2回)収穫90日前まで
_	カーメックスD ミ センコル水和剤 アージラン液剤 シャドー水和剤

薬剤散布は、土壌処理を行うことで減農薬につながります。草丈が伸びて、茎葉 処理を行うと生育阻害や農薬使用量が多くなります。何事も適期に行うことで増 収につながります。

さとうきびは地温※20℃以上という条件下で、水分があると出芽します。多収にはどれだけ多く苗立ちするかが重要ですので出芽した苗が 雑草に覆われて枯死することのないよう注意しましょう。また、病害虫対策としては年に1回程度カンシャコバネナガカメムシ(チンチバ バック)に対して薬剤散布をします。また、ハリガネムシやメイチュウの被害の多い圃場の場合には植え付時に土壌処理剤(プリンスベイ ト剤)を使用しましょう。

※ さとうきびの栽培では本来30℃以上が最適気温です。その意味からも、日本での植え付け時や萌芽時は低温であると言えますので手 厚い管理が必要です。 〔農畜産業振興機構の資料より抜粋〕

今期も集落協力員の方で、フィルターケーキ(オリバーケーキ)の申込を受付けています。EM また、臭いを抑制するためにEM1、2、3号菌を全面に散布した商品となっており、価格 も昨年同様で、9千円の内、5千円を生和糖業が補助し運般配布を(有) 橘建設の方でして いただき、キビ作農家へ10 t ダンプ1台を4千円でお渡ししております。 ご希望の方は、集落協力員へ申し込みご利用下さい。



水性の改善を目的とした作業機です。

サ

サ

ブ

ソ

イ ラ

耕

改善努力の レベル 項目	これだけは実行しよう	単収向上のために				
圃場の準備	30cm以上を目標に出来る限り 深耕に努める。	サブソイラ、プラソイラ等による深耕 (80cmが目安)。				
基肥の施用	植付時に必ず基肥を投入する。	緩効生肥料の投入も検討する(株出萌芽の為の施肥も) 植付時に必ず基肥を投入する。				
土壌害虫防除	基肥時の農薬と除草剤散布。	基肥時の農薬と除草剤散布。				
除草対策	中耕により除草効果を高める。	中耕回数を増やす。				
	適期作業の実施。	適期作業の実施				
	分けつが3~5本出ていなくとも軽い中耕培土を行なう。	計画的な肥料投入と培土を行なう。				
根付深さ/植え溝の切り方	溝深さは25cm程度に深く覆土は 浅くする。	溝深さは25cm程度に深く、覆土は浅くする				
干ばつ対策	条件に適した品種を選ぶ。 夏植、株出を検討する。 少し早めに植え管理も早める。	1日3mm、7日間で21mmの灌水を行なう。 生育旺盛期では、1日5mm程度、7日間で35mmの 灌水が望まれます。				
サブソイラは心土破砕して圃場の透排						

はつ土(土を削る)板で心土を表面 に持ち上げるため、下から上がった 土が残渣と混和する。

①サブソイラが土を包丁で 切っている様な物に対し

②「プラソイラ」はノミ で土を削る(はつる) 様な結果を得るもの だからです。

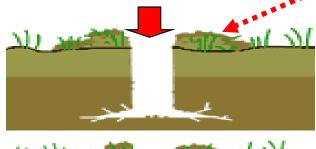
プラソイラの透排水性改善能力はサ ブソイラよりも大きく向上しています。

「プラソイラ」はプラウとサブソイラ の両方機能を持つ作業機です。 プラソイラは「プラウ」+ 「サブソイラ」=プラソイラ

ソイル (soil)=土・土壌

プラソイラ耕のナイフ通過後 にはつ土(土を削る)板で土

が上に抜かれ、溝が出来る。





③上に上がった土は残渣等と共に表土を覆う。

④やがて溝壁が土圧等により崩れ溝を埋める。

⑤この際に溝周囲の心土には多くの空隙が生じこ れが透排水性や通気性を向上させる。

⑥これを圃場全般に2~4年繰り返し行えば爪を 入れた深さまで膨軟な作土層が出来る

⑦こうして通気が良く、排水と水持ちの良さを兼 ねた土は、微生物を活性化させ、団粒構造へと 変わっていく。

"心土"を切るため表面付近 の土はほとんど動かない。 【心土=作土より下の層(約60cm)のこと】

【生和:一言コラム】 株出管理作業は収穫後、 週間以内に行いましょ

株揃えを行う目的は次の通りです。

甫

株揃えを行ない単収を向上させよう!!

プラソイラ

株揃えを行なうと単収が20%



株出栽培の定着と単収の向上には害虫による食害や収穫作業時の損傷箇所に補植 を行ない茎数確保を図ることが重要なポイントです。

- ①ハーベスタ収穫による株上を覆ったハカマや青葉の排除を行なう。
- ②株上がりの防止。
- ③十分な日光確保をすることで萌芽の促進を図ること。
- ④欠株箇所を確認し補植を行なうこと。

開発組合

●開発組合では株揃え(10a当り¥2,000)その他の作業も受託しております。問い合わせ先:65-4951 耕耘受託・中耕、施肥、培土・プラソイラ・カルチ・株出し管理作業・株揃え・除草・植付作業・その他

春植時期も近づいてきています。収穫作業でお疲れのところではありますが、株出の継続と併せて株出管理作業、また春植の 準備を進めていただき、適期春植作業の実施をお願いします。 【生和糖業株式会社喜界工場:業務部原料係】

集 後 記

今製糖期も、昨年12月16日から搬入・圧搾が開始された。きびの生育は、7~9月は干ばつ被害があり10月末の生育は平年より夏春株で概ね12cm~33 cm短い。10月の台風による塩害はほぼ回復したが、10~12月にかけての降雨でさとうきびの葉は青々としている。例年なら今の時期は、農林8号が出穂 (シュッスイ)しているが今年は圃場を巡回してもあまりみられない。一方、品質面では12月27日現在の買入糖度は13.49%と昨年と比較し0.88%低い状況 であり、雨が登熟を妨げており今期は雨にたたられているようだ。年が明け、寒が入り糖度の上昇を望むしかない。今の雨が7~9月のいずれかの月に降っ てくれていたらと、うらめしい限りだ。